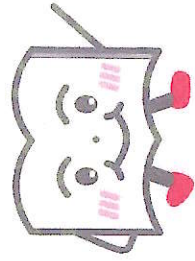


# 図書新聞

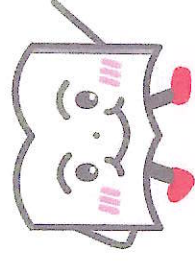
# 図書新聞

この新聞はみなさんに  
本への興味を  
持ってもらえるように  
発行しているものです。



本の妖精が作り出したしおりちゃん

この新聞はみなさんに  
本への興味を  
持ってもらえるように  
発行しているものです。



本の妖精が作り出したしおりちゃん



おしえてジエンちゃん



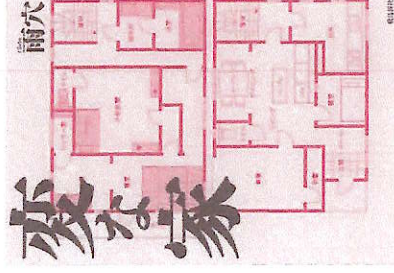
「女の子だから、  
のらない世界へ」  
SHIBUKAWA YUKI / PUBLISHED BY SHIBUKAWA YUKI

"生きる"ってどういうことだと思いませんか？とある少女から、あたしは、そんなことを聞かれた。正直何を言い出すんだ、と思った。だって、この質問の前まで、彼女とは全然違う話をしていたから。戸惑いつつも、あたしは彼女の質問に幾つか答えを出した。

心臓が動くこと。呼吸すること。あとは...死に怯えること。

...でも、どの答えも違うらしく、彼女は、首を左右に振った。

そして、彼女たちが共に演じる舞台の名は...『エリート』



前穴

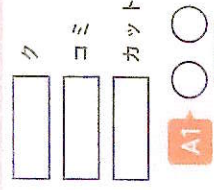
これは、ある家の間取りである。  
あなたは、この家の異常さがわかるだろうか？おそろしく、一見ただけでは、ごくありふれた民家に見えるだろう。しかし、注意深くすみずみまで見ると、家中そこかしこに、奇妙な違和感が存在することに気づく。その違和感が重なり、やがて一つの「真実」に結びつく。

それはあまりにも恐ろしく、決して信じたくない真実である。



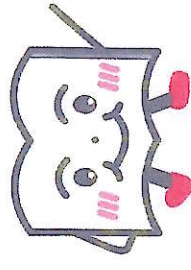
目が覚めるとそこは見知らぬ部屋だった。戸惑うあなたの前には紙の束が降ってくる。その紙には「謎を解き、合言葉を導け」と書いている。問題の謎を解いて合言葉を見つけろ!!

Q1

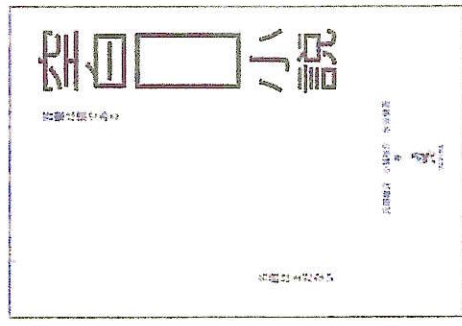


# 図書新聞

この新聞はみなさんに  
本への興味を  
持ってもらえるように  
発行しているものです。



本の妖精が作り出したしおりちゃん



『空白小説』は、書き出しと結びの文だけが初めから決まっているシヨートシヨート集です。その間の空白をどう埋めるかで、物語は予想できな方向へと展開し、書き出しと結びもつ意味は大きく変わります。あなたは『空白』の展開を予想できますか。

香翬は猫である

名前はまだない

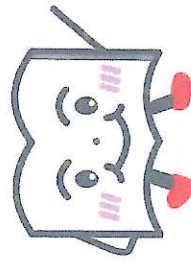
こういう文を見るとどんなことを予想しますか？



幼い頃から本が大好きな女子大生、本須麗乃が事故に巻き込まれ、見知らぬ世界で生まれ変わった。貧しい兵士の家に、病気がちな5歳の女の子、マインとして……。おまけに、その世界では人々の識字率も低く、書物は存在しない。いくら読みたくても高価で手に入らない。マインは思う、「ないなら、作ってしまえばいいじゃない！」目指すは図書館司書。本に囲まれて生きるため、本を作ることから始めよう！

# 図書新聞

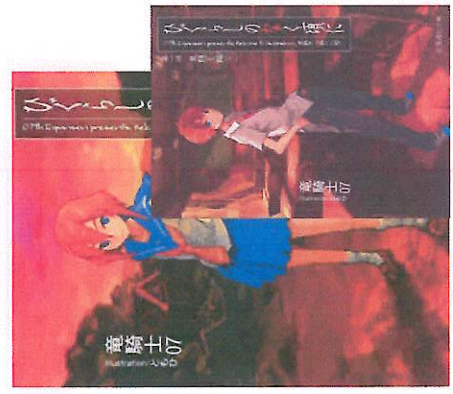
この新聞はみなさんに  
本への興味を  
持ってもらえるように  
発行しているものです。  
是非本を借りに来てください



本の妖精が作り出したしおりちゃん



普段の遊び友達の子と同様の手で雲母を口説き、雲母からの一方的な想いを受けけるようになってた霞。徐々にそんな彼女が疎ましくなり、粗雑に扱うようになり、酷い口実で別れを切り出した彼を待ち受けていたもの——それは真性のクズである彼が予想もしていなかった衝撃的な雲母の真実。



これが最後だから。これを振り下ろせば忘れてしまふのだから。君に送る...俺からの、最初で最後の花束。ひよっとすると、俺は、君のが、.....好きだった。その言葉と共に、もう一度だけ振り下ろす。そして俺は、真っ赤に滴る金属バットを床に落とした....